

所在地

広島県広島市

全校生徒数

312名

地域の特徴

広島県広島市東区矢賀は、府中大川の西岸に位置し、西側は丘陵、東部は川沿いの低地の住宅街となっている。大通り沿いには商業施設や飲食店も並び、広島市中心部にも近い活気ある地域である。

学校の特徴

明治5年に開校、令和4年度に創立150周年を迎えた地域に根差した歴史ある学校である。「自分らしく輝き 未来を拓く」を学校教育目標に掲げ、「児童・保護者・地域から信頼される学校」を目指している。

組織構成

【役員、委員等】
役員：会長、副会長、専門委員、書記、会計、事務局長、学級委員、会計監査、地区委員、教職員委員

【専門部会】
文化部、体育部、生活部、ふれあい部

【会議】
総会、委員総会、運営委員会、役員会、専門部会、学年・学級委員会

担当課：広島県教育委員会
生涯学習課

学校・地域との連携・協働による児童のためのPTA活動

キーワード

学校・地域連携 / 創立150周年記念事業 / 記念誌 / ゆるキャラ / 歴史 / イベント

取組概要

学校・地域と連携・協働し、様々な創立150周年記念事業を担った。矢賀小学校児童の心に残る特別な1年にするため、地域との繋がりを大切にしながら、創意工夫を生かした活動を行った。

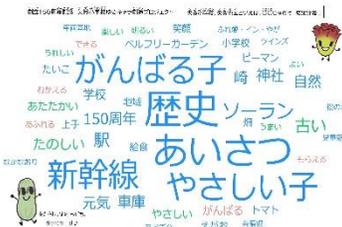
取組の詳細

○矢賀小学校ゆるキャラ創造プロジェクト

学校・地域と開催した創立150周年記念式典において、ゆるキャラ「やがマル」を発表した。「コロナ禍でも楽しめるイベントを！」を合言葉に、「矢賀」に関するキーワードを集めたデータマイニング、集まったイラストを動画配信、決選投票、PTA会員による電子化等の取組を半年間に渡って行い、子供たちの話題やワクワク感を創出した。「やがマル」は、缶バッジとして式典当日に全児童に配付した。愛されキャラとして、その後の広報活動においても広く使用されている。

○創立150周年記念誌の発刊

学校・地域と協働して、令和5年3月1日に創立150周年記念誌を発刊した。矢賀小の在校生や卒業生、地域在住の希望者に配付し、矢賀の歴史を未来に伝える架け橋となっている。



成果

- 児童と地域との関わりの場を創出し、愛校心と地域愛を育むことができた。
- コロナ禍での楽しみの少ない児童に、笑顔と誇りを届けることができた。

課題や今後の取組

- 取組の精選やペーパーレス化等。
- 個人情報取り扱いへの配慮。
- 更なる地域連携の在り方の検討。

その他の取組紹介

- LINEアプリの活用による会議開催に係る負担軽減、ZoomやYouTubeによる動画配信等。
- 学校との連携による男女別であった基準服の見直し。
- 登下校時等の緊急避難場所「こども110番の家」を巡るウォークラリーの実施。
- 地域主催の「忍者屋敷からの大脱出」等のイベント（児童対象）に役員として関与。

地域のみなさまとともに これまでも これからも



祝 広島市立 矢賀小学校 開校150周年

～自分らしく輝き 未来を拓く～

組織・運営の工夫

地域協働・連携

学びに関する活動

生活指導活動

その他